

会 報

新 春 号

《第363号》



目 次

- | | | |
|--------------------------------|-------------|------|
| 1 新年ご挨拶 | 会 長 瀬戸本 淳 | 1頁 |
| 2 平成28年新春メッセージ
～兵庫創生に挑む～ | 兵庫県知事 井戸 敏三 | 2頁 |
| 3 新年ご挨拶 | 役 員 一 同 | 3頁 |
| 4 見学研修レポート
『洲本・稲田藩の足跡と秋の味覚』 | | 4～6頁 |
| 5 お知らせ、広報コーナー | | 6～8頁 |

平成28年1月1日



次代を築くヒューマン・ネットワーク

一般社団法人**兵庫県建築会**



新年ご挨拶

会長 瀬戸本 淳

新年明けましておめでとうございます。

兵庫県建築会及び関係団体の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は好調な経済環境に加え、海外からの訪日客によるインバンド需要、特に爆買いが大きくクローズアップされましたが、日本の風土やもてなしの心が育む新産業分野の成長に大いに期待したいものです。

翻って私たちの建設業界におきましても、東日本大震災の復興需要を始めとする公共投資や民間設備投資に支えられ好況に推移し、技術者、資材の不足といった課題も生じましたが、共有の課題と捉え、官民協力して育成、確保に努めることができました。今後も2020年の東京オリンピック、パラリンピックを控え、技術力、人材の継承を澁みないものとする適切な公共投資に期待したいと思います。

また、兵庫県内におきましては、阪神・淡路大震災から20年を経過する中で数々の復興施策を享受しつつ、東南海・南海地震など次への備えを新たにしているところでは、建築物の安全安心を提供することを使命とする私たちにとって、建築物の耐震化や、老朽建築物のリニューアルなど現状を見据えた的確な行動が求められています。

その一方で、阪神・淡路大震災から10年後に発覚した耐震偽装問題では、建築に対する信頼を取り戻すため、多大な労力を伴う制度改正を受け入れざるを得ませんでした。しかし、それから奇しくも10年を経た中で、免震ゴムのデーター改ざんに加え、基礎工事のデーター改ざんが行われていたことが発覚し、建設業界全体の信頼が揺らぐ事態に陥っています。一刻も早い原因究明を行い、元請、下請間の施工管理体制と設計・監理体制を再構築し、建築工事の品質の向上を図っていく必要があります。

そのためにも、私たちも快適な生活の場を提供し、明るい社会をかたち作っていく立場のものとして、この事態を真摯に受け止め対処していかなければなりません。この貴重な存在である建築会のアーキテクチュアル・ヒューマンネットワークの連携と対話が、諸問題解決のための手法を生み出すのに大いに役立つことと考えています。ぜひ皆様と共にこれからの社会の構築に向けて、さらに考察を深めていこうではありませんか。

さて、新年を迎えて早々に来年の話となりますが、2017年3月には当会は創立70周年を迎えることとなります。人の年齢では喜寿の祝となりますが、このため、本年はイベント的に催しを順次開催し、この長寿を祝いたいと思っています。会員及び関係者の皆様には、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

今後も開かれた兵庫県建築会に一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



～兵庫創生に挑む～

兵庫県知事 井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。

国内では急速な人口減少・少子高齢化、世界では地域紛争が激化する一方で、国境を超えた経済の一体化が進展しています。内外とも変化の激しい今、兵庫においても、新たな発展の枠組みが求められています。

昨秋、本県は、5年間の地域創生戦略を策定しました。今後50年で100万人以上の人口減少が見込まれます。少子化と高齢化も年々進行します。その中でも兵庫が活力を保ち、将来への希望を持てる地域を目指さねばなりません。それだけに、地域の多様な資源を最大限に活用して、ふるさと兵庫を愛する人々とともに、「安全安心で元気なふるさと兵庫」を創らねばなりません。

第一は、安全安心の確保。安全こそが県民生活と社会経済活動の^{もと}基です。ハード・ソフト両面から防災・減災対策を進め、危機に強い地域を創ります。また、医療、福祉の更なる充実により、安心して暮らし続けられる体制を整えます。

第二は、多彩な人材が活躍できる社会づくり。女性、若者、高齢者、障害者の一層の社会参加を促します。そのためにも、子育て環境の整備や、個性を伸ばす教育に努め、県民一人ひとりの自己実現を目指します。

第三は、活力あふれる地域づくり。科学技術基盤を活かした新産業の創出、大都市近郊を活かす農林水産業の確立など、産業の競争力強化に取り組みます。また、高速道路網の整備、広域観光圏の形成などにより、内外との交流の拡大につなげます。

未来は、私たちの手で変えられる。

そのため、戦略では、自然増や社会増対策を行うとともに、人口が減る中でも実質的な経済成長を実現するという目標を掲げました。地域、地域の持つ多様な資源を活かしつつ、兵庫としてのまとまりを発揮する「多様性と連携」を基本に、皆さんと共に挑みます。「兵庫創生」に向けて、さあスタートを切りましょう。

各地域 資源を活かし連携し めざすは兵庫の新しい展開



謹賀新年

今年もよろしくお祈いします



旧年中は当会の事業運営にあたりまして、会員及び関係者の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年もなお一層のご支援ご協力のほど、よろしくお祈い申し上げます。

平成28年元旦

名譽顧問	竹太	村田	章郎	会 長	瀬戸本	淳幸	監 事	石北	田浪	恭孝	一 郎
顧 問	北笠	田浪	敏邦	副 会 長	川 棚	宏 邦	幹 事	勝西	野内	孝 聡	一 郎
	井大	尾垣	卓昭	専務理事	石谷	純澄		河立	内野	茂 潤	高 也
	小川	町林	勝 裕	理事	岡中	俊保		田小	花中		充 忍
	高山	嶋橋	利 伸	事 務	平山	一 夫		矢瀨	寺 間	泰 照	雄 人
	木 村	本 村	康 光	理 事	大宮	弘 惠		前 川	尾 川	武 真	一 郎

— 役員一同 —



見学研修レポート

『洲本・稲田藩の足跡と秋の味覚』

幹事 小寺泰雄(淡路土建株)
事務局 谷 純夫

8月会報でレポートした洲本市・旧益習館跡庭園に関する反響もあり、秋の公開に合わせて洲本・稲田藩の史跡を巡る見学研修会(第2回)を開催しました。当会幹事(淡路土建)小寺泰雄氏から頂いた見学レポートを基にその報告をします。なお、今回の史跡巡りには、地元の武本浩己氏に案内をいただきました。

<前回レポートの会報>↓

http://www.kenchikukai.or.jp/infomation.php?date=2015080101_2

◎ 洲本バスターミナル～淡路文化史料館～八幡神社・金天閣(県指定文化財)

最初に訪れたのは、洲本城跡内の淡路文化史料館で、古代から淡路国として、独自の文化を形成してきた淡路島の歴史と文化を一堂に集めた博物館です。ここで、淡路島の文化と稲田藩・庚午事変の概要を知識に入れ、同じく城跡内の洲本裁判所内の洲本城跡庭園(非公開)を視察後、蜂須賀家、稲田家の祈願所であった洲本八幡神社に赴きました。案内の武本氏のお計らいにより酒井一成宮司による洲本城・金天閣に関わる歴史的意義の解説をいただきました。

その概要は次のとおりです。

『建物は、400年くらい前のもので、金天閣と言われる部屋には蜂須賀の殿様だけが座った。内装は、格天井(ごうてんじょう)と言われる天井にはすべて金箔が貼られている。』

明治の初めに、洲本城は取壊されたが、玄関部分と殿様の謁見の間(応接間)だけが残った。洲本城で完全に残っているものは、唯一この金天閣のみである。

江戸時代には築城は1国1城が原則であったが、蜂須賀藩は、鳴門海峡による領土分離を理由に、淡路島の統治の必要上、洲本に築城を希望した。一方、幕府は許可に当たり、徳島の家臣団を収容する名目で無理やり大きな城をつくらせた。(全100室で、実際に使ったのは30室程度)

洲本城は平城(下城)であったが、山城(上城)は、室町期の安宅氏築城のものを蜂須賀氏が大改修して天守閣が造られた。山自体が城となっており、西日本でも面積的には最大級で、山城から天気の良い日には、双眼鏡で明石海峡の主塔や紀淡海峡が見え、要衝であったことは間違いない。(上城は1642年廃城)

金天閣の天井部分は金箔の上に絵が描かれてお

り、天候が悪いと湿気ではげてしまい修復が困難となるため、文化庁指導により天候の悪い時には開放できない。実際、元の場所から移動されたため県指定文化財とされているが、重要文化財そのものとする。』

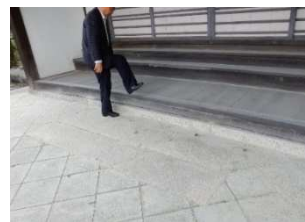


金天閣:酒井宮司による解説

また、兵庫100選に選ばれている金天閣と一体の庭は、現在、裁判所から税務署一帯の庭である。』

次に「金天閣」前に移動して、

『これは殿様専用の出入口で、このような籠の大きさに合わせた石畳みがあり、到着したらここに籠を置けるようにしている。』



金天閣:籠置き石畳

蜂須賀侯の家紋である左卍が、鬼瓦、臺股(かえるまた)、違棚・帳台構(ちょうだいがまえ)の罫(かざり)金物、釘隠といたるところに使われている。中でも秀逸なのは、帳台構の唐紙の模様を崩しである。また、「金天閣」に懸けられている表札は、徳島藩主蜂須賀忠英(ただてる)が洲本御殿に来たとき、金天閣の額に合わせて書かれた表札を直接貼られたと言われている。

次に、蜂須賀家の系譜であるが、家紋の「卍」が示すようにお寺の出自といわれている。(「小六」の盗賊説はよくわからない。)>と解説いただきました。宮司には、寒い中を長時間に亘り、本当にありがとうございました。

《感想:金天閣》

前日来の雨で、湿度が高く、金天閣の内部が見られなかったのは残念でしたが、宮司の解説でその造りの華麗な様子が窺われるとともに、洲本城の歴史的、戦略的意義を知ることができました。そして金天閣の現状について、県指定文化財といいながら、文化庁から重要文化財同様の指導を受けるため、維持管理には大変厳しいものがあると推察され、老朽化対策は重要課題と感じました。

また、解説いただいた内容は大変興味深く、観光協会等を巻き込んで、音声ガイドや内部写真の展示により、見学者がいつでも見聞できるようにすることも考えられます。(自動音声ガイド:スマートフォンのアプリ活用)

(金天閣の内部写真をレポート最後のページに掲載しました。)

◎ 八幡神社～巖島神社～下屋敷・旧益習館跡庭園

八幡神社からは10分ほどの洲本巖島神社(弁天さん)では芭蕉の句碑や稲基神社を視察し、下屋敷に残る武家屋敷跡の長屋門などを巡って、益習館に到着しました。

まずもって驚かされたのは、竹内洲本市長が寒い中を益習館前でお待ちいただき、お出迎えをしてくださったことです。8月の第440号会報でレポートしたとおり、この整備には市長の並々ならぬ決意が窺え、事前に訪問する旨お知らせはしましたが、私達のツアーにわざわざ歓迎の意を表していただき恐縮の極みです。そして、市長から、「庭園に面した邸(大正期)を市の迎賓館として活用とすべく



旧益習館跡庭園：竹内洲本市長と記念写真(右から3人目)

庭園とともに改修中で、2月11日の市制10周年記念日にお披露目し近く一般公開したい。その際には皆様の協力をお願いします。』とのお話がありました。今回参加できなかった方には、一般公開を機に是非見学に訪れてみてください。

庭園内では、地域おこし協力隊の山本達也氏から説明を受けました。

『この庭園は、稲田家の別荘「西荘」で、その後、別にあった益習館という学問所を移し、儒学を始め、武術、槍術の訓練が行われた。明治3年の庚午事件で、建物は焼失したが、庭だけが残った。

稲田家は陪臣(家臣の家臣)であったが、当時の1万4千石は大名クラスの禄高で、経済的に恵まれ、大名並みの庭園が出来た。

この庭園は、池泉回遊式の庭園となっており、三熊山を借景して造られている。中心石を中心にごの庭を築造している。守護石は、高さ4m、幅5.8mの巨石で、日本では最大級である。大滝石は、守護石の隣横に滝をイメージして作られ、小滝石は、守護石の裏面に2か所ほどある。

小滝石からは洲浜を配し、池泉中央の水分石は、滝の水を分けるようなイメージで配している。庭石のほとんどは和泉砂岩で、この裏の曲田山の自然石を使用している。中国の渓谷をイメージしたものもあり、歩くたびに石の風景やいろんな楽しみ、見方がある。』

8月号にも掲示した郷土史家 武田信一先生の

解説画像を、改めて次のリンク先をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=f19DpD0-iio&feature=youtu.be>

《感想：旧益習館跡庭園》

現在、一般公開に向け整備が進められていますが、出来るだけ空間を残せるように期待します。庭園自体は、山全体にだんだんと広がり、巨石空間として見ごたえがあります。

ただ、今回少人数とはいえ、説明を受ける場所が限られ、混雑緩和の為には移動する人の動線を明確にする必要があるかと思われました。敷地に余裕がないことは事実ですので、金天閣同様に音声ガイドを設置して、さらに庭園全体の模型等を展示して学習後に庭園を歩いてもらうような工夫が考えられます。

◎ 旧益習館庭園～旧津田邸庭園～洲本レトロこみち～大工町・昼食会場

次に近接の旧津田邸庭園へ。『下屋敷には武家屋敷が曲田山を取り巻くように連なっていた。益習館跡に近接する旧津田邸庭園はその規模からかなりの重臣の邸であったと見られる。』現在、淡路信用金庫の研修所となっており、ここでもわざわざ本店から赤松文昭氏が案内に来ていただきました。



旧津田邸庭園

『大滝(雄滝)と小滝(雌滝)の二つの滝石組を中心とした池泉鑑賞式庭園である。やはり、曲田山出土の巨石が使われ、武家屋敷に相応しい造りとなっている。』(西桂著：兵庫県の日本庭園より)

レトロこみちは益習館から真つすぐ北へ延びるこみちで、淡路島で唯一残る映画館(不定期上映)を中心に食事処や小売り店舗が並び、本町商店街と隣接し、イベント開催などで誘客を目指しています。



洲本レトロこみちの映画館

す。当日は、商店街の休業日で、人出も少なく本来の様子が見られず残念でしたが、映画館の活用等インパクトある施設の必要性を感じました。

そして冷え切った体を癒す昼食は、淡路島三年とらふぐのフルコース。大振りで刺身はしっかりした歯ごたえ、白子、唐揚げ等々のフルコースをいただき、久しぶりのフグ料理に大変リーズナブルな料金で大満足でした。1日に一組しか取らないと聞きましたが、隠れた名店の所以でしょう。

◎ 洲本市民広場

食後は、平成6年から13年にかけてカネボウ工場跡地の再開発により近代化産業遺産として歴史的な外観が残る赤レンガ建築群の施設を視察しました。修復再生された赤レンガ建築群は、今では再現できない貴重な建物であり地域と一体となった整備がされています。現在閉館しているほぼ中央にある美術館跡は、近く市が取得し再利用を図るようで、他の周辺施設との回遊的な動線整備により活気が出てくるものと思われました。

そしてまち歩き最後は、旧第3工場汽罐(ボイラー)室改築の御食国ごちそう館で土産物を買って帰路につきました。

《まち歩きをして》

石垣のみ残る洲本城跡ですが、城内(現裁判所、検察庁)に残された当時の庭園、往時の城の姿が唯一忍ばれる「金天閣」、そして巖島神社内の稲基神社に続く下屋敷・旧益習館跡庭園、旧津田邸庭園と歴史浪漫溢れるまち歩きを楽しむことができました。旧益習館跡庭園の改修整備を機に、更に市内に残る歴史遺産の一層の整備とそれらの有機的連携により、魅力ある歴史探訪まち歩きの施策展開に期待したいと思います。

さて、次はハモの季節も魅力的です。

○「城下町洲本 レトロなまち歩き」の紹介↓

http://sumoto-retro.blogspot.jp/p/244_30.html

城下町洲本再生委員会は、本年度の第17回人間サイズのまちづくり賞(知事賞)を受賞されました。

○ 金天閣内部画像(建築士会HPより)



上段



上段の間、左から
帳台構・違棚・床

お知らせ

◎ 行事ご案内

ご出席をよろしくお願いします。

① 新春会員交流会(兼第444回月例会)

日時：平成28年1月14日(木)

17:30~19:30

会場：神戸三宮東急REIホテル

② 第445回月例会

テーマ：夢と浪漫をいだいて

～サンティアゴへの道～

講師：石田邦夫副会長

日時：平成28年2月18日(木)

12:00~14:00

会場：西村屋和味旬彩

③ 第446回月例会

テーマ：異文化コミュニケーション

講師：黒田高之氏

(株)リンク グローバルソリューション
シニアコンサルタント

日時：平成28年3月10日(木)

12:00~14:00

会場：神戸三宮東急REIホテル

④ 平成27年度第2回理事会

議題：平成28年度予算ほか

日程：平成28年3月17日(木)

会場：未定

◎ 事務局便り

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしく願い申し上げます。

○今年オリンピックイヤー、東京大会への試金石となります。そして、新国立競技場の建設がいよいよ始まり、国産木材積極活用により景観、環境に配慮し、2019年11月完成を目指す大事なスタートの年です。建築技術の粋を内外に示していただきたいと思います。

当会でも創立70周年を控え、諸準備を進めていくこととなります。会員皆様のご協力をよろしくお願いします。

○昨年の漢字は「安」で、『不安の安とも見られ、来年は安心した安全な社会となることへの期待が込められている』と清水寺森貫主の解説です。当会も支持する住宅再建共済制度は10周年を迎えましたが、未だ9%台の加入率です。自助、公助そして共助の精神で、毎年発生する大規模災害から財産を守る安心の社会システム構築のため、当会の事業方針に基づき、一層の普及に協力をしていきましょう。

事務局：谷 純夫、石井滝実子

電話：078-996-2851

E mail： archit-k@axel.ocn.ne.jp

平成27年度 1級建築士 設計製図試験

兵庫県
ストレート合格者占有率
合格者占有率

No.1

兵庫県ストレート合格者のおよそ7割が
当学院現役受講生!

兵庫県 学科・製図
ストレート合格者占有率

兵庫県ストレート合格者 60名中
当学院現役受講生 41名

68.8%



兵庫県合格者の6割以上が当学院現役受講生!

兵庫県 合格者占有率

兵庫県合格者 149名中
当学院現役受講生 90名

60.4%



1級・2級建築士 受験対策講座 **受講生募集中!** 無料体験入学実施を実施しております。詳しくは下記最寄校までお気軽に!



総合資格学院 平成28年度 建築士合格者占有率目標
平成28年度もより多くの合格者を輩出できるよう、スタッフ一丸となってサポートします!

1級建築士試験
ストレート合格者占有率
(学科+製図)

95%

1級建築士学科試験
合格者占有率
90%
受験ライオン80%以上
合格者率90%以上

2級建築士試験
ストレート合格者占有率
(学科+製図)

70% **60%**

2級建築士学科試験
合格者占有率

現在に至る経験と知識を
研鑽し、証明する絶好機!

実務に従事される方が、自らの知識と経験を第三者に証明するために最も有効な方法は、専門性の高い、より上位の資格取得です。設備に関する熟練者としての建築設備士、設備設計1級建築士、構造に関する専門家としての構造設計1級建築士、資格取得は更なる躍進への絶好機です。

平成28年度試験対策

1級建築士合格実績 **No.1** 指導校の上位資格対策講座!!

強化 構造設計
1級建築士対策講座

強化 設備設計
1級建築士対策講座



新規講座順次開講! **NEW** 建築設備士

各種講座の詳しい情報や受講相談など、お電話またはオフィシャルサイトからお気軽にお問い合わせください。



願書 取り寄せ **無料**
サービス実施中!

当学院が責任を持って各資格の願書をお渡しするので、入し忘れの心配無用。最寄校または、QRコードからお申し込みください。



1級・2級 建築士

構造設計1級建築士
設備設計1級建築士

建築設備士

1級・2級
建築施工管理技士

1級・2級
土木施工管理技士

宅地建物取引士

インテリア
コーディネーター



総合資格学院

www.shikaku.co.jp 総合資格 検索 Facebook 「総合資格 拓」で検索!

私たち総合資格学院は
おかげさまで創立35周年を迎えました。
これからも有資格者の育成を通じて、
業界の発展に貢献して参ります。



総合資格学院 学院長

神戸校

兵庫県神戸市中央区雲井通4-2-2 マークラー神戸ビル 3F
TEL.078-241-1711

姫路校

兵庫県姫路市白銀町50番地 日本生命姫路ビル1F
TEL.079-224-1411

TOKYU REI HOTEL Party Plan

忘・新年会 Plan

2015 12.1 - 2016 2.29

一年の締めくくりと新年のはじまりにふさわしい
神戸三宮東急REIホテル自慢のプランをご用意しました。

スタンダード
プラン

お一人様

5,000 yen

ベーシック
プラン

お一人様

6,000 yen

セレクト
プラン

お一人様

7,000 yen

お得な特典!

50名様以上のご利用で

- 乾杯用スパークリングワインサービス
- 150分フリードリンク
- ビンゴゲーム付きカラオケ無料貸し出し(1日限定1台)

飲み放題 (2時間)

1,500 yen

- ビール ● ウイスキー
- ワイン(赤・白)
- 焼酎 ● 日本酒
- オレンジジュース
- ウーロン茶



※写真はイメージです

※ 表示価格にはサービス料と消費税が含まれております
※ 食材の入荷状況によりメニュー内容が変更することがございます



神戸三宮 東急REIホテル

(旧 神戸東急イン)

〒651-0096 兵庫県神戸市中央区雲井通6丁目1番5号
Tel: 078-291-0109 Fax: 078-221-2917
<http://www.kobesannomiya.rei.tokyuhotels.co.jp/ja/>

3階 宴会場

ご予約お問い合わせ

078-291-0701

受付時間 9:00~18:00まで



*表示価格にはサービス料と消費税が含まれております
*食材の入荷状況によりメニュー内容が変更することがございます

〒651-0096 兵庫県神戸市中央区雲井通6丁目1番5号
Tel: 078-291-0109 Fax: 078-221-2917
<http://www.kobesannomiya.rei.tokyuhotels.co.jp/ja/>